

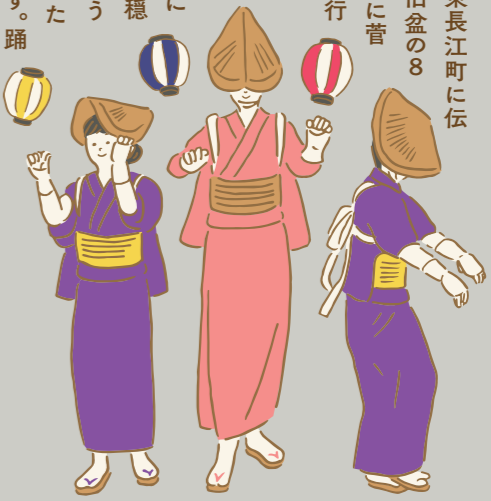
先祖供養と結びついた盆踊りの中心として伝承

# ジョンカラ節

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市東長江町

指定 昭和34年11月3日



ジョンカラ節は、東長江町に伝承され、かつては旧盆の8月14日、15日の晩に菅原神社の境内で行われ、現在は夏祭りなどで継承されています。名前の由来は、念仏によって、常時平穏安泰を得ると言う「常和楽」から来たと言われている。踊り手は、紫かピンクの無地の着物に編笠をかぶり、細かい縦縞のソウメン帯を締め、紅白の袴がけという衣装で踊り、音頭取りは輪踊りの中心となって、チョイノ「マイダ」と声をかけると、他の踊り手全員が「チョイノモヒト」と応え、ほかにも「チョイノソウテコサ」「エーンテコソテコヤ」「チョイノハンガチ」「チョイノオキド」と囃しながら体となって演ずるところに古風な特徴があります。

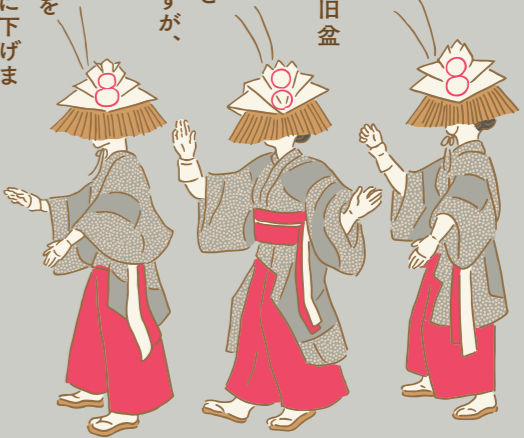
蓮花に蝶のたわむれる様をあしらった編笠が特徴

# さかたおどり

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市八田町

指定 昭和49年3月1日



さかたおどりは、昭和20年頃までは河北潟南部一帯に広く踊られていましたが、現在は八田町だけに受け継がれ、8月の旧盆に踊られています。踊りの種類が多く、さかた、ほんがやり、こさいななど、12種類の踊りがありますが、往時は17種類に及んだといわれています。衣装は浴衣姿で、鈴付きの手甲をつけ、紅白の腰に下駄を履き、蓮の花、蝶のたわむれる様をあしらったかざりをつけ、笠、杓子を持って軽快に踊ります。音頭とりは数名が交互にうたいます。踊りが「ヨイヤササ」などといふ手を入れ、唄手、踊り手が一体となって踊りの輪を広げていきます。段物「門出八鳥」「目連尊者の地獄巡り」が主にうたわれています。

威勢と気魄を受け継ぐ伝統的な技

# 加賀鳶梯子登り

石川県指定無形民俗文化財

所在地 金沢市内

指定 平成21年12月1日



加賀鳶は、5代・前田綱紀により、江戸の前田家上屋敷の消防組織を強化した自衛消防隊が起源と言われ、現在、金沢市第二消防団、第二消防団及び第三消防団により結成した「加賀とびはし」登り保存会が、威勢と気魄を信条とした大名火消の伝統的な技を伝えています。演技は加賀鳶木遣くずしの歌に乗せて、演技者は梯子の頂上から火事の状況や風向きを確認する「火の見」など、27種の技を行います。加賀鳶梯子登りは、正月の出初式や金沢百万石まつりなどで披露され、市民に最も親しまれている民俗芸能のひとつです。

勇壮な男踊りとしなやかに優雅な女踊り

# 二俣いやさか踊り

石川県指定無形民俗文化財

所在地 金沢市二俣町

指定 平成7年10月3日



二俣町は、古くから紙すきの里として、また蓮如上人ゆかりの本泉寺の所在地として知られています。現行の踊りは、男踊りの鈴踊り・太刀踊り、女踊りの手踊り・扇踊り・からかさ踊りの6種に分類され、男踊りは勇壮で、それぞれ変化に富み、女踊りは優雅です。6つの踊りが一つの大きな輪となり、医王山麓で歌われてきたイヤサカ節で歌われる歌詞と調和して、医王山麓を代表する古い盆踊りとして、地方的特色を有する民俗芸能として重要なものとして、

蓮如上人が巡錫したことから始まった

# 南無とせ節

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市戸水町

指定 平成19年12月3日



南無とせ節は、蓮如上人が当地へ巡錫したことがきっかけで始まったと伝えられ、「盆」の習俗や風習、蓮如にまつわる伝承などにより、広く民俗学者の注目を集めてきましたが、住民のあいだで民俗・信仰的な価値が意識されるようになったのは、保存会が発足したころからです。現在、市内各所で盆踊り大会が開催されていますが、生ける伴奏と唄にこだわって踊る町は数少なく、保存会のメンバーが袴の上にあがり、三味線・胡弓・太鼓を伴奏に音頭とります。よる唄を披露しています。盆踊りを町営の貴重な文化遺産と考え、形骸化させてはいけないという強い意気込みと努力の跡が感じられます。※地元での呼称は「なんとせぎし」

つき手と手返ししの絶妙な踊り

# 上野町餅つき踊り

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市小立野

指定 平成9年1月31日



金沢市小立野地区旧上野町に伝承されている餅つき踊りは、もともと大人の行事でしたが、伝承をはかるため、子どもたちも参加する行事となってきました。この行事は、藩政の頃行われていた12月行事の一つとして有名であったとされています。各家によって継承され、往事は城内や兼六園、大家などに呼ばれて、つき踊るといいます。現在の餅つきは、氏神の祭礼の際、子の各家を巡回してつき廻る祭りの行事となっており、県内では珍しい芸能です。祭の当日は、上野八幡神社の前で餅つき踊りを披露したあと、町内を巡回します。

2代藩主・利長の時代から四〇〇年、連続と続く神事能

# 大野湊神社の寺中神事能

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市寺中町ハ163

指定 昭和60年5月1日



大野湊神社には、2代・前田利長の関ヶ原の戦での奉祝にはじまり、現在に至るまで連続と神事能が継承されています。寺中能は、代々藩主の敬神と能楽奨励の配慮によるものでしたが、明治の廃藩以後は氏子の奉賛と金沢能楽会の演能により毎年奉納されています。寺中能の舞台は利長の寄進により創建され、現在の能舞台は明治40年に建てられました。見所に棧敷や外圍に設けず村人が随意に観覧できたことが特徴とされています。寺中能は加賀における最も古い伝統と地域的特色の濃い神事能として評価されています。

滑稽さと加賀宝生流の能の品格

# 加賀万歳

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市本多町

指定 昭和50年1月29日



加賀万歳は、藩祖前田利家が越前の府中・現在の越前市を治めていた頃、領民が年頭に祝賀のため舞っていたのが、利家の金沢入城後、金沢城下にも入り、その後、金屋町の大石藤五郎が伝承発展させて加賀万歳として定着したものです。万歳の形式は、太夫・主人・才蔵が掛け合いで祝言ものを唄い舞うものですが、舞う前に前触があつて唄をそえます。加賀万歳は能楽の影響を受けていて、舞いや語りがユーモアのある中にも品格があります。歌詞は60余番あるうち、番物、拍子物、流しにわかれ、舞い方には式舞、曲舞、所作舞があります。

素唄と素朴な衣装で野性味のある踊り

# 湯涌念仏踊り

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市内(湯涌地区)

指定 平成27年9月11日



湯涌念仏踊りは、かつて湯涌校下地区のお盆、秋祭りや家々の祝儀の宴席などで踊られていました。富山県福光方面との交流の中、盆踊り唄である「福光ちゃん」が明の初め頃に伝わったとされています。踊り手の衣装は素朴な着物で、音笠などの被り物で顔は隠すことはしません。男踊り、あなま踊り、たあた踊りがあり、それぞれに衣装が異なります。素唄で地味な衣装を着て泥臭く野性味のある踊りで、笛や太鼓などの囃子も入らな、古い形態が伝承されている点が評価されています。また、市内において「さかたおどり」とともに「目連尊者を歌う」数少ない民謡です。

江戸時代の加賀藩の参勤交代を彷彿とさせる

# 奴行列

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市内

指定 平成25年1月11日



奴行列は、少なくとも明治20年には大野で行われていたことが確認されています。現在は、栗崎・大浦・大野・金石・北間・五郎島・近岡・戸水・東敦爪の大野川流域の地域で保存継承されています。「地域により、編成や道具・化粧などが異なります」奴行列は、基本的に神輿行列に供奉し、神主や神輿の先導役を担う民俗芸能です。江戸時代の加賀藩の参勤交代の様子を彷彿させ、顔や着色し、先頭に音頭取りが立ち、道化的な役割をすること、県外ではあまりない難刀の存在など、金沢の奴は独自の発展を遂げています。

金石地区の民俗伝承文化が集結

# 大野湊神社の夏季大祭

金沢市指定無形民俗文化財

所在地 金沢市内(金石地区)

指定 平成23年9月1日



金沢市寺中町に鎮座する大野湊神社の夏季大祭は、通称「金石の夏祭り」として市民に親しまれていますが、文献により少なくとも江戸時代初期から既に行われていたことが分かっています。祭礼は、天照大神と猿田彦大神の旧社地へ里帰りし、主体となります。初日に仮殿に到着した2柱は最終日に大野湊神社へ帰座します。神輿の行列には地元町会の曳山17基と太鼓台22台が供奉する他、悪魔払い子供奴、獅子舞、米上げ、梯子登り等の民俗芸能が参加し、演舞を奉納します。これは金石地区の民俗伝承文化の集合体とも言え、実に壮大な見応えのあるものとなっています。

# 金沢市 無形民俗文化財 MAP

KANAZAWA INTANGIBLE FOLK CULTURAL PROPATIES MAP

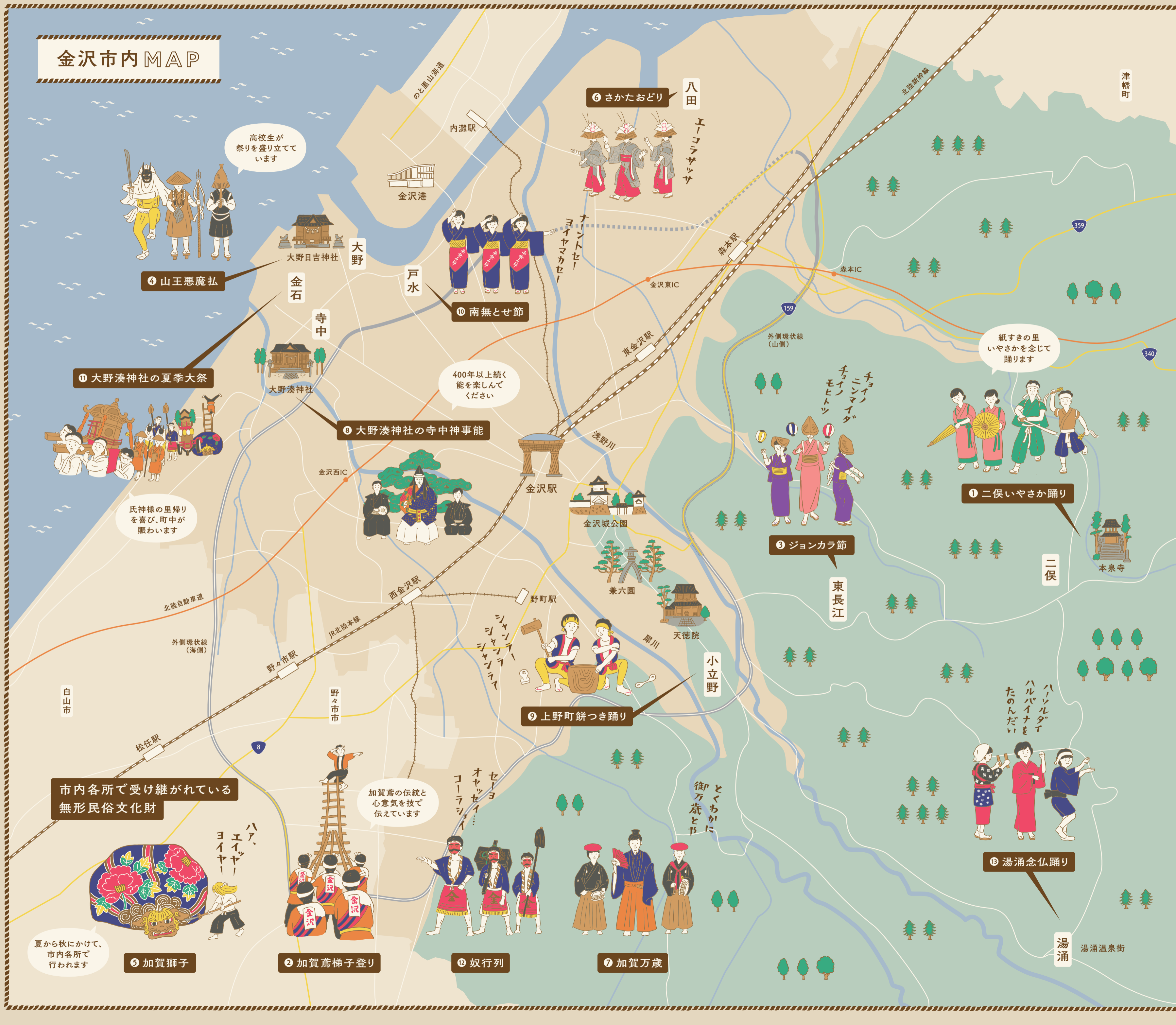


## 金沢市無形民俗文化財マップ

無形民俗文化財は、生まれ育った地域への誇りや愛着を育む貴重な文化財で、それぞれの地域において人々の自発的な活動に支えられ、継承されています。このマップでは、金沢市で活動している無形民俗文化財を紹介しています。

【発行】 金沢市  
【編集】 金沢市文化財保護課  
金沢市広坂1丁目1番1号  
電話 076-220-2469  
【作成】 令和2年4月

# 金沢市内MAP



## 無形民俗文化財の時期と場所

時期	場所
1月	7 加賀万歳
1月2日	前田土佐守家資料館(片町2丁目10-17)
3月	2 加賀鳶梯子登り
1月…消防出初式	金沢城公園 新丸広場
4月	13 湯涌念仏踊り
5月…湯涌校下運動会	湯涌小学校・芝原中学校
6月	8 大野湊神社の寺中神事能
5月15日	大野湊神社(寺中町ハ163)
6月	2 加賀鳶梯子登り
6月	金沢百万石まつり
6月	6 さかたおどり
6月	いしかわ特別支援学校(南森本町1-1)
6月	5 加賀獅子
6月	金沢百万石まつり ほか
6月	12 奴行列
6月 ほか	金沢百万石まつり ほか
7月	13 湯涌念仏踊り
7月…伝承夏祭り / 8月…盆踊り / 9月…こっさ祭り	湯涌公民館前広場(伝承夏祭り/盆踊り) 湯涌みどりの里(こっさ祭り)
7月	4 山王悪魔払
7月第4土・日曜	大野日吉神社夏季例大祭(大野町全域)
8月	11 大野湊神社の夏季大祭
8月第1日曜を最終日とする金・土・日曜	大野湊神社(寺中町ハ163)から金沢町全域
8月15日	1 二俣いやさか踊り
8月15日	本泉寺(二俣町子8)
8月15日	10 南無とせ節
8月15日	本泉寺(二俣町子8)
8月中旬…東長江町会夏祭り	3 ジョンカラ節
町会広場	
9月	9 上野町餅つき踊り
9月	上野八幡神社(小立野2丁目4-1)
9~10月頃…ふる郷の伝承踊り	13 湯涌念仏踊り
11月…医王山麓の伝承踊り	
石川県女性センター(ふる郷の伝承踊り)	
金沢湯涌江戸村(医王山麓の伝承踊り)	
10月下旬 夕日寺校下文化祭	3 ジョンカラ節
夕日寺小学校	

高校生が祭りを盛り立てています

400年以上続く能を楽しんでください

紙すきの里いやさかを念じて踊ります

氏神様の里帰りを喜び、町中が賑わいます

加賀鳶の伝統と心意気を伝えていきます

市内各所で受け継がれている無形民俗文化財

夏から秋にかけて、市内各所で行われます